

### 第3 1回プラズマ技術委員会議事録

日時： 2007年12月21(月)12:00~13:00

場所： 同志社大学

出席者：小野茂委員長(武蔵工大), 行村副委員長(同志社大), 横倉委員(東芝), 長山委員(核融合研), 中村委員(中部大), 池畑幹事(茨城大), 堤井幹事補佐(九州大, 書記)

配布資料：

PST31-1 第30回プラズマ技術委員会議事録(案)

PST31-2 2008年度のプラズマ研究会について(小野委員長)

PST31-3 技術委員会・専門委員会運営要綱(行村副委員長)

PST31-4 プラズマ技術委員会名簿(行村副委員長)

PST31-5 プラズマによる水処理・水高機能化と水界面における反応過程調査専門委員会設置趣意書(案)(小野委員長)

PST31-6 2007年度第2回電気学会基礎・材料共通部門研究調査運営委員会資料(小野委員長)

PST31-7 核融合炉実用化の技術課題と球状トカマク研究による解決の見通し(長山委員)

議事：

#### 1. 前回議事録の確認

配付資料 PST31-1 のとおり確認された。

#### 2. 2008年度の研究会

PST31-2 に基づき, 9月福岡[担当: 堤井(九州大)], 12月京都[担当: 行村(同志社大)]とする。その他の開催候補地として, 仙台, 名古屋, 広島などが挙げられた。

#### 3. プラズマ技術委員会の委員交代

PST31-3 および PST31-4 に基づき, 行村副委員長から, 任期満了に伴う2008年4月からの委員交代について説明があった。次期副委員長を当面空席とすることが提案された。

#### 4. プラズマによる水処理・水高機能化と水界面における反応過程調査専門委員会の提案

PST31-5 に基づき, 新しい調査専門委員会の提案について, 委員長から説明があった。

報告事項：

#### 1. 第2回電気学会基礎・材料共通部門研究調査運営委員会

PST31-6 に基づき, 委員長から報告があった。

#### 2. 核融合炉の経済性向上調査専門委員会の設立

PST31-6 に基づき, 同調査専門委員会設置趣意書の修正版を再提出すれば承認されることが報告された。

#### 3. 球状トカマク調査専門委員会の解散について

PST31-6 および PST31-7 に基づき, 同調査専門委員会の解散報告書が承認されたことが報告された。

#### 4. 全国大会のシンポジウム

2008年3月に開催される電気学会全国大会のシンポジウムについて, 課題名“プラズマスパッタリング装置の動向とその応用”が採択され, 3月19日に開催されることが報告された。

#### 5. その他

次回委員会は, 佐賀県呼子において, 2008年1月26日開催となった。

以上。